

実証的共同研究の募集

総務省の予算・人員・ノウハウを活用できます！

- 総務省では、EBPMの実例創出のため、総務省の予算・人員・ノウハウを活用し、政策所管府省と共同で、様々な政策の効果検証を実施しています。
＜効果検証を行った政策の例＞ 農山漁村振興交付金（農林水産省）、#7119（救急安心センター事業）の導入効果（総務省消防庁）など
- 総務省、各府省政策担当者、委託事業者の3者で協力し、ロジックモデルの作成やデータ収集から統計分析までを一気通貫で行います。

⇒ 政策評価審議会答申を踏まえ、「実証的共同研究」の枠組みを柔軟化し、実施後の検証のみならず、政策の設計段階の案件などにも対応。

例えば、以下のような、効果検証の準備段階や途中過程で行う取組についても実施

- 事後の効果検証のための適切な指標設定
- 現状把握と課題設定のためのデータやエビデンスの収集
- 指標に基づき、データを収集・整理

※ EBPMとしての質を担保するため、各取組には外部有識者も参画

「外部有識者へ相談したい（紹介してほしい）」「ロジックモデルを第三者の目を見てほしい」「データの収集・分析を事業者へ発注したいので、相談に乗ってほしい」といったこともOKです。効果検証に関することは何でもお気軽にご相談ください。